

The Japanese-Language Program for Outstanding Students of

JF Japanese-Language Courses 2016

Paul Joh, a participant of this program (held in December 2016), has written the below report in Japanese. Paul is studying Japanese at JF Sydney's Pre-Intermediate course.

完璧主義者（かんぺきしゅぎしゃ）の国（くに）

初（はじ）めて日本（にほん）への招待（しょうたい）を貰（もら）った時（とき）、初（はつ）の一人（ひとり）での海外（かいがい）旅行（りょこう）への胸（むね）の高鳴（たかな）りと共（とも）に、少（すこ）しの不安（ふあん）もありました。飛行機（ひこうき）の中（なか）では一人（ひとり）のおばあさんのそばに座（すわ）りました。一緒（いっしょ）に話（はな）したかったのですが、日本語（にほんご）を間違（まちが）えるかもしれないので、静（しず）かにしていました。しかし、日本（にほん）に到着（とうちやく）する前（まえ）に勇気（ゆうき）を出（だ）して「どこから来（き）ましたか」と聞（き）きました。おばあさんは「日本人（にほんじん）です」と親切（しんせつ）に答（こた）えてくれ、私（わたし）が日本（にほん）への初（はじ）めての旅行（りょこう）である事（こと）などの会話（かいわ）をしました。到着後（とうちやくご）すべての事（こと）が違（ちが）いました。空気（くうき）のにおい、雰囲気（ふんいき）、人（ひと）、文化（ぶんか）。最初（さいしょ）の問題（もんだい）は和式（わしき）トイレでした。使（つか）うのが難（むずか）しかったです。日本（にほん）のトイレは本当（ほんとう）に綺麗（きれい）で、建物（たてもの）の全（すべ）てのフロアにもありました。

国際（こくさい）交流（こうりゅう）基金（ききん）関西（かんさい）国際（こくさい）センターでは、受付（うけつけ）に挨拶（あいさつ）をして貰（もら）いました。でも敬語（けいご）はやや難（むずか）しいと感（かん）じました。国際（こくさい）交流（こうりゅう）基金（ききん）で初（はじ）めて作（つく）った友達（ともだち）はヘンディさん（エジプト人（じん））とチャンプさん（タイ人（じん））でした。一緒（いっしょ）に国際（こくさい）交流（こうりゅう）基金（ききん）の自転車（じてんしゃ）を借（か）りてコンビニに行（い）きました。初（はじ）めて買（か）った物（もの）は牛乳（ぎゅうにゅう）でした。オーストラリアの牛乳（ぎゅうにゅう）の味（あじ）と違（ちが）いました。日本（にほん）の木（き）のにおいや、日本（にほん）の牛乳（ぎゅうにゅう）の味（あじ）や、日本（にほん）の道（みち）も、全部（ぜんぶ）違（ちが）いました。本当（ほんとう）に嬉（うれ）しかったです。四時（よじ）になると僕（ぼく）たちは大変（たいへん）つかれ、休（やす）みをとりました。六時（ろくじ）に会（あ）う約束（やくそく）がありましたが、十時（じゅうじ）すぎ迄（まで）寝過（ねす）ごしてしまい会（あ）うことができませんでした。その日（ひ）二十三（にじゅうさん）の国（くに）から二十四人（にじゅうよにん）参加者（さんかしゃ）が来（き）ました。国（くに）は中国（ちゅうごく）、韓国（かんこく）、モンゴル、インドネシア、カンボジア、ラオス、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、インド、オーストラリア、米国（べいこく）、ブラジル、ドイツ、スペイン、フランス、イタリア、英国（えいこく）、ハンガリー、ロシア、ウクライナ、エジプトから来（き）ました。様々（さまざま）な国（くに）の人達（ひとたち）が、同（おな）じ

場所（ばしょ）に集（つど）うという事（こと）は、非常（ひじょう）に珍（めずら）しい事（こと）でした。

国際（こくさい）交流（こうりゅう）基金（ききん）関西（かんさい）国際（こくさい）センターでは色々（いろいろ）な活動（かつどう）がありました。例（たと）えば、合気術（あいきじゅつ）と書道（しょどう）と関西弁（かんさいべん）の授業（じゅぎょう）と茶道（さどう）と和太鼓（わだいこ）と自宅（じたく）訪問（ほうもん）と小学校（しょうがっこう）訪問（ほうもん）と大阪（おおさか）、東京（とうきょう）、京都（きょうと）を探索（たんさく）することがありました。大阪（おおさか）はたくさん安（やす）い物（もの）や、美味（おい）しい食（た）べ物（もの）がありました。東京（とうきょう）はよくイベント活動（かつどう）があつて面白（おもしろ）いカフェもありました。例（たと）えば、メイドカフェとか、猫（ねこ）カフェとか犬（いぬ）カフェもありました。京都（きょうと）はたくさんきれいな場所（ばしょ）があつて伝統的（でんとうてき）な場所（ばしょ）もありました。たくさん神社（じんじゃ）とお寺（てら）もありました。

僕（ぼく）は主（おも）に大阪（おおさか）に滞在（たいざい）していたので、よく難波（なんば）と道頓堀（どうとんぼり）と梅田（うめだ）とりんくうタウンを散歩（さんぽ）しました。このプログラムは2週間（しゅうかん）しか日本（にほん）にいられないので、すべての場所（ばしょ）を訪問（ほうもん）するようできるだけ毎日（まいにち）頑張（がんば）りました。

日本（にほん）での滞在（たいざい）は実家（じっか）にいるのと同（おな）じくらい心地（こち）よかったです。交通（こうつう）手段（しゅだん）は時刻（じこく）どおりに動（うご）き、地域（ちいき）の人々（ひとびと）に僕（ぼく）の日本語（にほんご）を助（たす）けて頂（いただ）き、文化（ぶんか）も温（あたた）かくて楽（たの）しかったです。国際（こくさい）交流（こうりゅう）基金（ききん）関西（かんさい）国際（こくさい）センターから日本語（にほんご）の勉強（べんきょう）を継続（けいぞく）できるように本（ほん）をプレゼントしてもらいました。僕（ぼく）はもっと日本語（にほんご）を勉強（べんきょう）したいと強（つよ）く励（はげ）まされました。

日本（にほん）を離（はな）れる時（とき）が来（き）ました。同級生（どうきゅうせい）も悲（かな）しくて自分（じぶん）の国（くに）に帰（かえ）りたくない様子（ようす）でした。最後（さいご）のカラオケパーティーにも皆（みな）悲（かな）しい雰囲気（ふんいき）が漂（ただよ）っていました。もっと日本（にほん）に住（す）みたいと強（つよ）く感（かん）じました。たくさん友達（ともだち）ができて、沢山（たくさん）日本語（にほんご）を練習（れんしゅう）し、場所（ばしょ）に慣（なれ）れましたが、今（いま）は自分（じぶん）の国（くに）に帰（かえ）らなければならないです。一緒（いっしょ）に最後（さいご）の写真（しゃしん）をとって、お互（たが）いに「さようなら」の手紙（てがみ）を書（か）きあい、最後（さいご）にさようならを言（い）いました。

同級生（どうきゅうせい）の飛行機（ひこうき）予定（よてい）は翌朝（よくちょう）にありましたが、僕（ぼく）の飛行機（ひこうき）は最後（さいご）から2番目（ばんめ）でした。皆（みな）空港（くうこう）に行（い）く前（まえ）にバス停（てい）で最後（さいご）に会（あ）つて出発（しゅっぱつ）を見（み）おくりました。国際（こくさい）交流（こうりゅう）基金（ききん）関西（かんさい）国際（こくさい）センターの先生（せんせい）も見送（みおく）りにきて「さようなら」と言（い）いました。一人（ひとり）ひとりが去（さ）っていくにつれてセンターにいる同級生（どうきゅうせい）が少（すく）なくなりま

した。はじめは24名（めい）がいて、今（いま）は2人（ふたり）しかセンターにいません。僕（ぼく）の去（さ）る時間（じかん）が来（き）ました。僕（ぼく）の心（こころ）は後（うし）ろ髪（がみ）をひかれる思（おも）いでした。本当（ほんとう）に去（さ）りたくないけどオーストラリアにも家族（かぞく）があつて、友達（ともだち）もあつて、家（いえ）がありました。

バスが来（き）ました。バスに乗（の）って先生（せんせい）たちと決別（けつべつ）しました。大切（たいせつ）な人（ひと）、日本（にほん）の大好（だいす）きな事（こと）、そして、楽（たの）しい活動（かつどう）、全部（ぜんぶ）思（おも）い出（で）になります。バスのドアが閉（し）まる前（まえ）に自分（じぶん）に約束（やくそく）しました。「次（つぎ）に必（かなら）ず来（く）る。」「将来（しょうらい）、日本（にほん）に住（す）みたい。」なぜなら、日本（にほん）で暮（く）らしたいからです。そして日本（にほん）を愛（あい）しているから。

僕（ぼく）は日本（にほん）を旅行（りょこう）することができ、皆（みな）さんに感謝（かんしゃ）したいです。私（わたし）はこのプログラムを計画（けいかく）し、参加（さんか）し、紹介（しょうかい）した人々（ひとびと）がいなければ、これを体験（たいけん）することはできませんでした。

本当（ほんとう）にありがとうございました。

ポール